

令和4年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会  
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

# 令和4年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	5
	福祉サービス利用援助事業及び決算額	10
	法人後見事業及び決算額	11
	共同募金配分金事業及び決算額	12
	社会福祉基金事業及び決算額	15
	資金貸付事業及び決算額	16
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	16
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	17
	外出支援サービス事業及び決算額	18
	配食サービス事業及び決算額	18
	居宅介護支援事業及び決算額	19
	指定管理事業及び決算額	19
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	20
	生活支援体制整備事業及び決算額	22
	デマンド交通運営事業及び決算額	24
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	24
	その他の支援活動	25

## 令和4年度 事業報告

### 【総括概要】

令和3年度策定した『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』の基本理念である「支えあい ともに生きる 笑顔あふれるまちづくり」に基づき、「支えあう育む人づくり」「地域の絆づくり」「みんなでつくる安全・安心のまちづくり」「地域福祉の仕組みづくり」の4つの基本目標のもと、施策や事業に取り組みました。今後は、計画を着実に推進するため、地域ふくし座談会や研修会等を通じて地域住民との意見交換会や推進委員会を開催し、計画の進捗状況について継続的に検証を行います。

また、住民参加型在宅福祉サービス事業「ふれあいサービス」においては、暮らしの中で困りごとのある人（利用会員）とお手伝いができる人（協力会員）が会員となる町民の参加と協力による相互扶助活動で、公的サービスでは補えないニーズについて既存のサービスの見直し・拡充を図りました。それぞれの登録会員数や活動実績も増えつつあり、今後もお互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指してまいります。

日常生活自立支援事業（あすてらす）については、高齢・障がい等により判断能力が不十分な方の権利を擁護するため、本会に専門員や生活支援員を配置し、福祉サービスに関する情報提供や相談支援、日常的な金銭管理の支援を行いました。利用者も近年増加傾向にあり、生活支援員の人材確保や成年後見制度への移行促進など課題が顕在化しているため、今後とも、町総合サポートセンターが設置した成年後見（制度）中核機関と連携しながら総合的な権利擁護体制づくりを推進してまいります。

コロナ禍においても地域住民のつながりを切らさないための地域福祉活動事業等を創意工夫し、また、生活困窮者や子育て世帯に対し、地域ふくし・思いやりプロジェクト事業を新規で立ち上げ町内各団体やボランティアの協力のもとカレーや焼きそば、町認定農業者の皆様から提供されたお米を配布し、生活を支援しました。今後も、既存の事業を生かしつつ必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう各種活動を行ってまいります。

これからも、地域課題を住民が身近な圏域で「我が事」としてとらえ、「丸ごと」受け止める、「地域共生社会」の実現へ向け、行政機関等と連携しながら、住民主体の生活支援サービス等の開発や地域全体で高齢者等の生活を支える体制づくりに取り組んでまいります。

## ■法人運営事業及び決算額

【38,888千円[36,447千円]】

## 1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、組織経営におけるガバナンスの強化、事業透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

## 2 主要な施策

## (1) 理事会・評議員会・監査会・評議員選任・解任委員会の実施

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

## ①理事会の開催（業務執行の決定、理事の職務執行の監督他）

第1回理事会（令和4年5月30日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	令和3年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について
	第2号	令和4年度野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
	第3号	令和4年度第1回野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第4号	野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について

第2回理事会（令和4年9月6日開催）		出席者：理事7名	
議案	第1号	野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について	
	報告	第1号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況について
		第2号	ふくしのつどいのぎ2022の開催について

第3回理事会（令和5年3月20日開催）		出席者：理事8名、監事2名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	令和4年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	野木町社会福祉協議会規程の一部改正について
	第3号	令和5年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第4号	令和5年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第5号	野木町社会福祉協議会理事及び監事の一部候補者の選定について
	第6号	野木町社会福祉協議会における苦情解決の第三者委員の選任について
	第7号	令和4年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

**②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）**

定時評議員会（令和4年6月16日開催）		出席者：評議員20名、監事1名
議案	第1号	令和3年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について

第2回評議員会（令和5年3月28日開催）		出席者：評議員17名
議案	第1号	令和4年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和5年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和5年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	野木町社会福祉協議会理事及び監事の一部選任について

**③監査会の開催（理事の職務執行の監査、業務及び財産の状況に係る監査）**

監査会（令和4年5月19日開催）		出席者：監事2名
内容	令和3年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

**④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）**

第1回評議員選任・解任委員会（令和4年6月16日開催）		出席者：委員4名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

(2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。  
町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	R2実績	R3実績	R4実績	R2実績	R3実績	R4実績
特別会員	34	32	26	38,000	37,000	31,000
普通会員	5,870	6,036	5,921	2,935,300	3,018,100	2,961,000
寄付	568	438	444	135,345	129,540	129,637
その他会員			2			2,150
賛助会員	37	39	41	190,000	198,000	210,000
合計	6,509	6,545	6,434	3,298,645	3,382,640	3,333,787

(3) 福祉サービスの運営適正

苦情解決に関する規程に基づき、本会が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、第三者委員や苦情受付担当者を配置し、その権利を擁護した。

第三者委員構成	人権擁護委員1・民生委員児童委員1・学識経験者1
苦情受付数	0件

(4) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

(5) 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの公表を行った。

## 1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。

## 2 主要な施策

### (1) 第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

令和3年度策定した『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき、行政と連携のもと計画を推進するため、座談会（新橋区）を開催し地域住民との意見交換を行った。今後は、地域支え合い会議を実施し、地域に住んでいる方たちが自分たちにできることなどを話し合い、次期計画への見直し・改善等を行っていく。

#### ①地域ふくし座談会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画について</li> <li>コミュニティコーピング体験 講師 ソーシャルワーク事務所そえしあ 松本 佑司氏</li> <li>ふくしの課題・問題について意見交換</li> </ul>	24



**コミュニティコーピング(超高齢社会体験ゲーム)**  
 人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型のゲーム  
 プレイヤー同士が協力し、孤立する人の本当の悩みを引き出して、専門家や地域の人たちにつなげていくことで「解決」を目指すというストーリーを体験する内容

### (2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時において、感染症拡大予防対策も含めたボランティア活動が円滑に行われるよう、資機材の整備など防災力の向上に努めた。また、全町避難訓練にて、災害時対応シミュレーション訓練を行い、避難所で実際に設置する備品の紹介や使用方法を体験した。今後も、職員が災害発生時に迅速に行動し、速やかに対応ができるよう防災意識を高めていく。

開催日	内 容	参加者数(名)
10月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所開設訓練</li> <li>災害ボランティアセンターの現状</li> </ul>	30



### (3) 社会福祉等のボランティア活動支援

#### ①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動が円滑に活動できるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数 (件)			加入者数 (名)		
	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績
ボランティア活動保険	11	11	14	727	505	521
ボランティア行事用保険	5	3	11	147	167	1,220
福祉サービス総合補償	4	5	4	76	90	85
送迎サービス補償	1	1	1	8	8	8
合 計	21	20	30	958	770	1,834

#### ※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数 (件)	R2 実績	R3 実績	R4 実績
		3	2

#### (整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	スピーチオ (活字文書読上装置)	点字トランプ・UNO
パソコン	デイジー (CD 読み取り機)	音声電卓
点字板	高齢者疑似体験装着具	鈴入りサッカーボール
点字プリンター	まなび体 (片マヒ疑似体験具)	車いす
MD/CD ラジカセ	アイマスク・白杖 (視覚障害体験具)	移動式段差解消用スロープ
録音機 (テープ式)	体験用点字ブロック	プロジェクター・スクリーン
録音用 (集積) マイク	視覚障害体験グラス	アンプスピーカー

#### ②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体 (サークル)・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内 容
4月14日	全体会・全体研修会
11月16日	V連委員研修会 (群馬県 宝徳寺他)
定例会の開催 (第2木曜日/年7回開催) 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成 (委員14名) され全体会・全体研修会、委員研修会等について意見交換を行った。	



#### 全体研修会

野木町総合サポートセンターの役割とフードバンク事業の取組について

講師：溝部貴之氏 (野木町総合サポートセンター)

社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年度3月31日現在）

	R2実績	R3実績	R4実績
団体数（団体）	11	11	11
個人ボランティア数（名）	54	53	53

（ボランティア団体）

No.	名 称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌他をCDに録音し、視覚障がい者等に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業への参加協力、施設での読み聞かせ活動
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への協力・研修等
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力
7	野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
8	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 のぎコスモス	
9	YOSAKOI 桜	
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動
11	のぎまちづくり ネットワーク	野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動

（ボランティア団体以外の活動一覧）

No.	名 称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」の配達に協力し、ひとり暮らし等高齢者宅に昼食のお弁当を届け、安否確認や交流を図る活動
2	福祉・介護施設等でのボランティア活動	町内外の福祉・介護施設などで利用されている方々の趣味活動支援やお話し等交流を行う活動
3	事業協力活動 ハンディキャップ体験 学習支援活動	各種福祉関係事業への協力、町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導活動



・朗読講座

講師 朗読の会「のぎく」

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月19日	朗読のための呼吸法 発声・発音	6
10月26日	声に出して読んでみよう	4
11月2日	表現力1	5
11月9日	表現力2	5
11月16日	伝わる読み方	5

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月5日	研修「傾聴活動をするにあたり…」 演習「肯定感を味わう」 グループワーク	15
10月12日	研修「傾聴の心得」 演習「2つの聴き方」 グループワーク	12
10月19日	研修「傾聴のスキル (技能)」 演習「ロールプレイング」(役割演技) グループワーク	11
10月26日	研修「傾聴が身につく自分づくり」 演習「ロールプレイング」(役割演技) グループワーク	14
11月2日	研修 「認知症と傾聴」 演習「グループワーク」	13
11月9日	「聴き上手になるレッスン」	15

③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

・協力校事業

協力 (指定) 校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校 (全7校)
実施した主な活動内容	アルミ缶回収／古紙回収／緑の募金／ペットボトルキャップ回収／手話・点字の学習／ハンディキャップ体験／クリーン活動／ふれあい活動／伝承あそび／その他

・福祉教育推進連絡会議の開催(年3回)

開催日	内 容	出席者数(名)
6月24日	・令和4年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	11
11月25日	・地域福祉新聞について	11
1月27日 (オンライン)	講義「福祉教育のこれまでとこれから ～疑似体験型福祉教育からの脱却～」 講師 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 准教授 大石 剛史 氏 ・地域福祉新聞(校正)について	13

・地域福祉新聞(小中学生版)の発刊(共同募金配分金事業)

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月21日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・南赤塚小学校(人権に関する教職員向け研修会)

・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
5月24日	手話・点字体験学習支援(4年)	新橋小学校
5月31日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	新橋小学校
6月28日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	友沼小学校
9月10日	車いすバスケット体験学習支援 点字体験学習支援	野木第二中学校
10月6日	手話体験学習支援(4年)	友沼小学校
11月7日	人権に関する教職員向け研修	南赤塚小学校
11月24日	点字体験学習支援(4年)	友沼小学校
12月1日	人権集会 講話「ふくしのおはなし」 手話講習会	友沼小学校
12月6日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	野木小学校

・ボランティアチャレンジスクールの開催

【協力】栃木県障がい者スポーツ指導者協議会

開催日	内 容	受講者数(名)
8月2日	・片麻痺について知ろう、片麻痺疑似体験 ・パラスポーツを見てみよう! ・ニュースポーツ(コントロールアタック・ボッチャ)にチャレンジ!!	6
8月3日	・片麻痺について知ろう、片麻痺疑似体験 ・パラスポーツを見てみよう! ・ニュースポーツ(コントロールアタック・ボッチャ)にチャレンジ!!	5

#### (4) 在宅福祉活動

##### ①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数 (件)	R2 実績	R3 実績	R4 実績
	39	30	58

#### (5) 緊急食料等給付事業の実施

経済的に困窮し最低限の生活を維持することが困難な世帯に対して、総合サポートセンター「ひまわり館」と連携を図りながら、フードドライブを活用し食料等の支援を行い、生活困窮者の自立促進を進めた。

##### ・緊急食糧等給付

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
件数 (件)	0	0	4

##### ・フードドライブ

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
件数 (件)			30

※令和4年4月よりフードドライブ事業実施

#### (6) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会 (えんじゅクラブ野木)	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を図った。
野木町社会福祉ボランティア 連絡協議会(団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時高齢者生活支援講習など地域における奉仕活動の推進を図る活動を行った。

#### (7) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
件数 (件)	7	2	3

### ■福祉サービス利用援助事業及び決算額

【1,274千円[0千円]】

## 1 事業の概要

高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

### 【実施したサービス内容】

福祉サービス利用援助：福祉サービスに関する情報提供や相談、利用の申し込み等

日常的金銭管理サービス：日常生活上の生活費の管理、支払い代行、生活費のお届け等

書類等預かりサービス：預貯金通帳・印鑑・各種証書の預かり等

【専門員数】 登録者 2 名

【生活支援員数】 登録者 8 名（実サービス提供担当者 5 名）

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
利用者実人数（名）	14	13	16
提供回数（回）	200	178	258
相談援助件数（件）			409
契約件数（件）			5
解約件数（件）			3

※R4 年度より基幹的（小山市）社協方式から全市町社協実施方式へ転換

## ■法人後見事業及び決算額

【328 千円[347 千円]】

### 1 事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として後見業務を行い、地域の様々な社会資源を有効活用して被後見人等の住み慣れた地域での生活を支援した。

### 2 主要な施策

#### (1) 法人後見運営委員会

成年後見人経験者等の専門家で構成する法人後見運営委員会を設置し、後見事業の指導を行い、適正な後見事業を行える体制を整えた。

第 1 回法人後見運営委員会（令和 4 年 9 月 28 日開催）		出席者数(名)
内容	・受任ケース（2 件）の終了報告等について	5

#### ・法人後見受任状況

類 型	R2 実績	R3 実績	R4 実績
後 見	1	1	0
保 佐	0	0	0
補 助	0	0	0
合 計	1	1	0

・ 類型終了件数

類 型	R2 実績	R3 実績	R4 実績
後 見	0	1	1
合 計	0	1	1

■ 共同募金配分金事業及び決算額

【1,706 千円[1,799 千円]】

## 1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

## 2 主要な施策

### (1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぼけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行やホームページの維持管理など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

・ ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
10月15日	◎式典 （表彰者） ・民生委員児童委員及び主任児童委員 13名 ・社会福祉団体及び社会福祉施設等の役職員 2名 ・社会福祉事業協力者等 2名 （感謝状） 3団体 ◎ステージイベント ◎子供向けコーナー ◎作品展示 ◎飲食販売	800	町老人福祉センター （ホープ館）



・社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発刊

号数	発行日	記事内容
133号	4月21日	令和4年度事業計画・予算、地域ふくし・思いやりプロジェクト、みつけた！地域のつながり①、えんじゅクラブ通信（卯ノ木クラブ）、おれんじカフェ、ホープ館講座のお知らせ、赤十字運動月間のお知らせ、デマンドタクシー「キラ輪号」からのお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
134号	6月23日	令和3年度事業報告・決算、令和4年度野木町社会福祉ボランティア連絡協議会全体会・全体研修会、みつけた！地域のつながり②、えんじゅクラブ通信（川田和楽会）、地域ふくし・思いやりプロジェクト報告、ウクライナ人道危機救援金、ボランティアチャレンジスクールの募集、ひとりぐらし交流会のお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
135号	10月27日	令和4年度日本赤十字社会員募集実績報告、おれんじカフェ、地域福祉計画・地域福祉活動計画、日常生活自立支援事業「あすてらすのぎ」、ボランティアチャレンジスクール報告、地域ふくし・思いやりプロジェクト報告、えんじゅクラブ通信（潤島福寿会）、地域包括支援センター紹介、みつけた！地域のつながり③、住民参加型在宅福祉サービス事業「ふれあいサービス」、配食ボランティア募集、外出支援サービスドライバー募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
136号	1月26日	令和4年度野木町社会福祉協議会会員募集実績報告、赤い羽根共同募金実績報告、ふくしのつどいのぎ2022報告、災害時対応シミュレーション訓練報告、みつけた！地域のつながり④、えんじゅクラブ通信（友沼下中寿会）、高齢者等ふれあいサロン・地域いこいの場マップ、おれんじカフェ、地域ふくし・思いやりプロジェクト報告、「地域ささえ手」ボランティア養成講座募集、貸付制度の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

・地域福祉新聞…年1回（2月）発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月21日	友沼小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップ球根植え</li> <li>・ハンディキャップ体験</li> <li>・人権学習会</li> </ul>
	野木小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイマスク体験</li> <li>・車いす体験</li> <li>・ボッチャ体験</li> <li>・総合的な学習の時間「ひとにやさしい大作戦」を通して</li> </ul>
	佐川野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町たんけん：「特定非営利活動法人縁人」さん訪問</li> <li>・人権集会：障がい者スポーツ（コントロールアタック（ボッチャ））体験</li> </ul>
	南赤塚小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間</li> <li>・総合的な学習の時間（認知症サポーター養成講座、車いす体験、アイマスク体験）</li> </ul>

	新橋小学校	・総合「心のバリアフリー」 (車椅子体験、手話・点字体験、アイマスク体験)
	野木中学校	・募金活動 ・アルミ缶・古紙回収 ・高齢者への手紙 ・美化活動を通して
	野木第二中学校	・ビックアート ・ウクライナ人道危機救援金 ・ふくしのつどいのぎ 2022 ボランティア活動
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話サークル「虹の会」、点字会「のぎ」、朗読の会「のぎく」</li> <li>・「学校」×「社協」で広がる福祉“共”育</li> <li>・地域福祉新聞とは</li> </ul>	

・ホームページ…年間公開

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
アクセス件数 (件)	3,284	3,074	3,748

(2) 高齢者の社会参加

町内在住75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会を開催し、当事者・民生委員児童委員・ボランティア等との互いの交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいをづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
7月28日	町老人福祉センター (ホープ館)	24名、協力(町民生委員児童委員5名) ・「ハンドベル演奏」 フェアリーベル ・「ゆかいな腹話術とマジックショー」 プリティーワールド



(3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月20日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業 (芋ほり)	法得幼稚園児 老人クラブ会員28名	川田地域
10月26日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員19名	野木幼稚園

#### (4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

#### (5) 地域（子ども）ふくし・思いやりプロジェクト

生活困窮者や子育て世帯に対し、町内各団体やボランティアの協力のもと食事や寄贈されたお米を提供し生活を支援した。

開催日	内容	来場者数(名)	場所
4月16日	カレーライス弁当配布 お米配布	100	町総合サポートセンター (ひまわり館)
8月20日	やきそば配布 お米配布	100	町総合サポートセンター (ひまわり館)
12月17日	やきそば配布 お米配布	150	町老人福祉センター (ホープ館)
3月29日	カレーライス弁当配布	100	野木小学校



野木町認定農業者協議会  
の皆様からのお米の寄贈

### ■ 社会福祉基金事業及び決算額

【504 千円[354 千円]】

## 1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

#### ・ 善意の寄付受入について（基金指定）

預託内容	R2 実績	R3 実績	R4 実績
寄付件数（件）	10	9	8
寄付金額（円）	402,140	348,919	503,042



## ■資金貸付事業及び決算額

【416千円 [66千円]】

### 1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	R2実績	R3実績	R4実績
貸付件数（件）	13	7	41
償還件数（件）	16	20	26

資金の種類・貸付件数（件）	R2実績	R3実績	R4実績
生活一時資金	11	4	8
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	2	3	33
合計	13	7	41

## ■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【869千円[869千円]】

### 1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生計維持が困難となり、生活再建までの生活費を必要とする世帯への資金の貸付事務や相談支援を行った。

	R2実績	R3実績	R4実績
相談件数（件）	248	97	188

資金の種類・貸付件数（件）	R2実績	R3実績	R4実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	0	0	1
福祉資金（緊急小口資金）	0	0	0
教育支援資金	2	0	0

臨時特例つなぎ資金	0	0	0
緊急小口資金コロナ特例貸付	95	30	14
総合支援資金コロナ特例貸付	52	22	10
総合支援資金コロナ特例貸付(延長)	11	4	0
総合支援資金コロナ特例貸付(再貸付)	18	15	0
合 計	178	71	25

## ■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【8,741千円 [8,456千円]】

### 1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

### 2 主要な施策

#### (1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護 委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談
法律(弁護士)相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金銭 貸借・賠償・離婚等の問 題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	地域包括支援セン ター職員	介護や介護保険(サー ビス)等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談

#### 【心配ごと相談】

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
開所回数(回)	7	9	12
相談件数(件)	1	2	1

**【法律相談】**

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
開所回数 (回)	11	12	12
相談件数 (件)	42	42	44

**【介護相談】**

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
相談件数 (件)	266	275	285

**・相談員研修会の開催について**

町心配ごと相談員研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月27日	「心配ごと相談と総合サポートセンターの連携について」 講師 野木町総合サポートセンター 溝部 貴之 氏	9

**■外出支援サービス事業及び決算額**

【273 千円[187 千円]】

**1 事業の概要**

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
利用者実人数 (名)	7	6	10
移送回数 (回)	51	41	66

**■配食サービス事業及び決算額**

【1,660 千円 [1,390 千円]】

**1 事業の概要**

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により毎日の調理が困難な方に対し、お弁当の宅配（毎月4回 金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食協力者（ボランティア）人数】 44名

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
利用者実人数（名）	57	59	58
配食数（食）	1,988	1,881	2,162

## ■居宅介護支援事業及び決算額

【22,888 千円 [21,438 千円]】

### 1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、利用者・家族の抱えている複雑な課題等に対して適切な相談支援を行い、より良質なサービスが受けられるようケアマネジメントを実施した。

【介護支援専門員数】 4名

・居宅サービス計画（ケアプラン）作成

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
作成件数（件）	1,103	1,061	1,212

要介護度	R2 実績	R3 実績	R4 実績
要介護 1	337	384	433
要介護 2	367	300	307
要介護 3	196	161	181
要介護 4	155	151	221
要介護 5	48	65	70
合計（件）	1,103	1,061	1,212

・要介護認定調査

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
調査件数（件）	1	0	2

## ■指定管理事業及び決算額

【16,047 千円 [40,681 千円]】

### 1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

## 2 主要な施策

### (1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
開所日数（日）	261	225	338
利用者総数（名）	7,591	6,560	14,931

※老人福祉センター利用者数等別表による。（P 26 参照）

### (2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康維持・増進と文化教養の向上を図るため各種講座を行った。

#### ・生きがい講座（令和4年6月～令和4年12月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
やさしいヨガ講座	12	0	10	10
初心者向け養生気功講座	24	2	6	8
初心者向けパソコン講座	23	1	4	5
フラワーアレンジメント教室	7	0	9	9
合計	66	3	29	32

### (3) 第17回老人ペタンク大会・第42回老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月18日	ペタンク	50	丸林中央公園 グラウンド
9月27日	輪投げ グラウンドゴルフ	141	丸林中央公園 グラウンド

## ■地域包括支援センター事業及び決算額

【56,906千円[53,770千円]】

## 1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制づくりに努めた。

## 2 主要な施策

### (1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】 8名（本センター5名・サブセンター3名）

社会福祉士	2名
保健師・看護師	2名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

#### ①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
総合相談	266	275	285
認知症相談	20	44	56
権利擁護相談	12	13	4
虐待相談	6	8	3
介護認定申請等	106	97	94
福祉用具住宅改修理由書作成	41	30	31
関係機関への連絡・調整等	3,471	3,575	4,255
緊急通報装置	19	13	22
見守りキーホルダー	12	8	6
その他	198	200	166
件数（件）	4,151	4,263	4,922

※その他については、安否確認、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

#### ②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行った。

#### ③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

##### ・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内容	参加者数（名）
5月19日	講話「看取りとグリーフケアについて」 講師 日本グリーフケア協会 グリーフケアアドバイザー特級 成瀬 理子氏	22
8月23日	講話「居宅介護サービス計画書の記載の考え方」 講師 とちぎケアマネジャー協会 会長 大山 典昭 氏	23
2月22日	講話「乳腺疾患について学ぶ」 講師 おもと乳腺外科クリニック 院長 尾本 和 氏	18

#### ④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
作成件数 (件)	3,118	3,217	3,765

#### ⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

### (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

## ■生活支援体制整備事業及び決算額

【3,778千円[2,441千円]】

## 1 事業の概要

地域包括ケアシステムの構築に向け、介護保険の地域支援事業の実施にあたり、生活支援コーディネーターを中心に協議体の運営を行った。また、地域の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進した。

## 2 主要な施策

### (1) 生活支援コーディネーター（第1層・第2層）の設置

地域のニーズ把握や地域のサービス主体との連携調整等のコーディネーター機能を担うため生活支援コーディネーターを2名配置した。

### (2) 協議体の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置した。

第1回野木町生活支援体制整備事業「第1層協議体」会議 (令和4年10月28日開催)		出席者数(名)
内容	・生活支援体制整備事業の活動経過報告について ・重点事業の概要及び実施状況について ・情報交換	10

### (3) 主な活動

視察及び研修会への出席	先進地の視察や県・県社協研修会へ参加することにより、生活支援体制整備事業の運営や生活支援コーディネーターの役割と活動内容の情報収集を行った。
会議等への出席	地域における高齢者の生活支援体制整備を進めるために、関係する機関が実施する各種会議等に参加した。
地域活動への支援	高齢者を支える活動を行なう団体等の支援を行った。
高齢者への個別生活支援	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等で、福祉や介護サービス利用の対象にならないなどの課題について、各関係機関との連携を図りながら相談や支援を行った。
啓発活動	事業の周知・理解のための広報活動や説明会を開催した。

#### ①地域支援活動の担い手育成講座の開催

地域において高齢者を支える担い手の発掘・育成のための講座を開催した。

開催日	内 容	受講者数 (名)
3月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の支え合い・助け合いについて</li> <li>・町内の福祉ボランティア活動について</li> <li>・ボランティア活動されている方のお話</li> <li>・情報交換</li> </ul>	16

#### ②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは補えきれないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
登録利用会員数 (名)	45	46	63
登録協力会員数 (名)	24	17	30
活動件数 (件)	35	35	150

	R2 実績	R3 実績	R4 実績
生活空間の掃除及び整理整頓	2	5	51
生活必需品等の買い物	0	1	17
話し相手	0	0	0
身の回りの世話	0	0	0
散歩、施設等への付き添い	0	0	14
庭の手入れ	1	0	
家具、家電の移動	1	0	1
その他 (ごみ捨て等)	31	29	67
活動件数 (件)	35	35	150

※令和4年6月よりサービス内容の見直し



## ■デマンド交通運営事業及び決算額

【19,952千円[18,247千円]】

### 1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時30分（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く
備考	○小学生単独乗車（R4.1月末から実施） 【利用条件】1. 必ず保護者から利用予約をすること 2. 保護者の責任において利用すること ○キラ輪号連絡ヘルプカードの利用（R4.2月末から実施） ※予約時など電話連絡が難しいと感じる方が携帯し、キラ輪号へ電話する際に周囲の人をお願いをするためのカード ○午後4時30分便増便（R4.10月から変更）

※デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P27参照）

## ■日本赤十字社活動と共同募金活動

### (1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（5月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	R2実績	R3実績	R4実績	R2実績	R3実績	R4実績
会 員	7	7	11	19,000	14,000	22,000
協力会員 （寄 付）	6,546	6,557	6,550	3,164,850	3,163,028	3,152,618
合 計	6,553	6,564	6,561	3,183,850	3,177,028	3,174,618

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
令和4年3月福島県沖地震災害救援金	1	4,413
ウクライナ人道危機救援金	10	440,423
トルコ・シリア地震救援金	1	9,349

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

①赤い羽根共同募金運動の実施（10月）

②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間10月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	R2実績	R3実績	R4実績	R2実績	R3実績	R4実績
世帯募金	6,551世帯	6,517世帯	6,492世帯	2,584,933	2,575,730	2,561,985
街頭募金			1ヶ所			20,368
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	7,723	9,602	12,084
法人募金	25社	24社	24社	125,000	127,005	126,840
設置募金箱	9ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	12,255	7,636	7,467
個人募金	0件	1件		0	4,841	
自販機募金	3台	3台	2ヶ所	41,641	55,159	38,735
利 息				6	6	5
合 計				2,771,558	2,779,979	2,767,484

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

令和4年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書(令和4年4月～令和5年3月)

	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)							1日平均 利用者数 (人)	利用団体数
						町内者			町外者					
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数			
令和4年4月	29	1,069	1,064	5		5		5				37	133	
令和4年5月	28	1,009	1,000	9		7		7	2		2	36	140	
令和4年6月	30	1,351	1,330	21	300	6		6	15		14	45	172	
令和4年7月	28	1,284	1,259	25	300	17		17	8		7	46	153	
令和4年8月	30	1,038	1,008	30	300	28		28	2		1	35	139	
令和4年9月	28	1,249	1,143	106	600	45	58	103	3		1	45	150	
令和4年10月	26	1,372	1,323	49	900	25	17	39	7		6	53	160	
令和4年11月	28	1,416	1,379	37	300	20		20	17		16	51	167	
令和4年12月	28	1,267	1,181	86	600	21	62	83	3		1	45	146	
令和5年1月	27	1,165	1,161	4	600				4		2	43	142	
令和5年2月	26	1,263	1,241	22	600	14		14	8		6	49	149	
令和5年3月	30	1,448	1,417	31	1,900	24		22	7		2	48	161	
合計	338	14,931	14,506	425	6,400	212	137	344	76	0	58	44	1,812	

\* 上記有料利用者数の内訳には減免の為免除されている人数を含んでいません。

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～令和4年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	フレシオン	町外	合計
登録者数	63	133	211	75	56	88	13	186	133	81	31	48	27	7	18	1,170
男	99	226	330	114	88	131	25	295	198	132	45	83	44	10	45	1,865
女	162	359	541	189	144	219	38	481	331	213	76	131	71	17	63	3,035
合計	25	71	106	38	30	43	4	87	64	28	20	23	11	5	4	559
利用者数	63	139	220	75	68	83	16	199	140	93	38	56	33	9	18	1,250
男	88	210	326	113	98	126	20	286	204	121	58	79	44	14	22	1,809
女	39.7	53.4	50.2	50.7	53.6	48.9	30.8	46.8	48.1	34.6	64.5	47.9	40.7	71.4		47.8
合計	63.6	61.5	66.7	65.8	77.3	63.4	64.0	67.5	70.7	70.5	84.4	67.5	75.0	90.0	40.0	67.0
利用率	54.3	58.5	60.3	59.8	68.1	57.5	52.6	59.5	61.6	56.8	76.3	60.3	62.0	82.4	34.9	59.6
合計																

運行日数	3,211
利用者数	113,066
平均/1日	35.2
登録者数	3,035

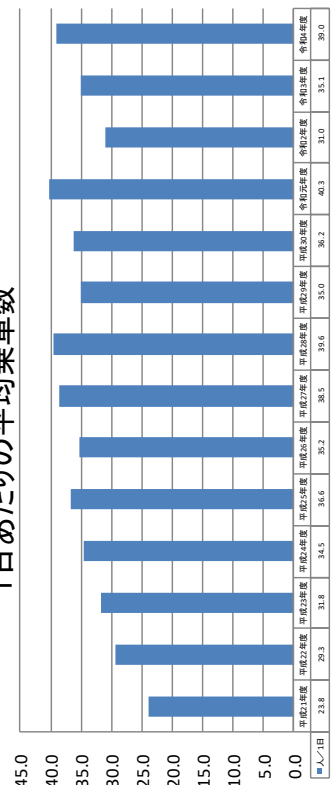
更新日: R5.4.5	(デマンド)
更新日: H30.3.30	(町)
登録者: 死亡者数	423
登録者: 転出者数	150
登録者: その他(登録抹消等)	9

登録世帯数	2,116
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(令和4年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	20	19	22	20	20	20	20	20	20	19	19	22	241
利用者数	714	718	815	802	777	804	794	879	836	744	703	809	9,395
平均/1日	35.7	37.8	37.0	40.1	38.9	40.2	39.7	44.0	41.8	39.2	37.0	36.8	39.0
登録者数	7	14	13	19	19	25	27	13	16	29	21	23	226
登録者: シルバーカード申込者数	34	33	51	47	49	38	37	29	40	31	34	53	476
登録者: 免許返納者数	4	3	1	3	1	7	6	4	3	10	4	7	53
登録者: 無料券利用者数(200円)	64	47	46	35	48	47	35	26	31	37	44	41	501
登録者: 無料券利用者数(300円)	7	2	5	1	9	9	10	1	1	12	5	18	79
登録者: 小学生単独乗車人数	2	1	3	3	2	2	2	2	2	3	3	4	18
登録者: ヘルプカード	2	1	3	3	2	3	2	2	2	3	2	2	18
利用世帯数													511

1日あたりの平均乗車数



年度別登録者・利用者

